



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名 セーレン株式会社 上場取引所 東
コード番号 3569 URL <https://www.seiren.com>
代表者(役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 川田 達男
問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 業務統括本部長 (氏名) 勝木 知文 TEL 0776-35-2111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	123,451	4.2	15,989	17.8	17,168	18.4	12,573	17.5
2025年3月期第3四半期	118,520	14.1	13,572	36.1	14,502	21.2	10,697	22.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 13,162百万円(21.9%) 2025年3月期第3四半期 10,794百万円(△33.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	214.05	212.71
2025年3月期第3四半期	187.90	182.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	206,065	152,867	73.7	2,583.47
2025年3月期	199,223	143,882	71.7	2,437.38

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 151,927百万円 2025年3月期 142,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	38.00	68.00
2026年3月期	—	38.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	38.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	172,000	7.7	20,500	14.7	22,100	14.6	15,900	14.5	270.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	64,633,646株	2025年3月期	64,633,646株
2026年3月期3Q	5,825,848株	2025年3月期	6,002,941株
2026年3月期3Q	58,741,831株	2025年3月期3Q	56,931,202株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、雇用・所得状況の改善などにより緩やかな回復が続いた一方、物価上昇や米国の通商政策などによる景気の下振れリスクが継続し、依然として先行き不透明な状況となりました。

このような不確実性の高い経営環境においても、当社グループは、中期方針「未知の可能性への挑戦！」に基づき、変化し続けるお客様ニーズに応え、安定した収益確保と継続的な成長を果たすため、“イノベーションと顧客開発”及び“企業体質の再建”を柱とした事業戦略を推進しております。併せて、企業の潜在力である人材力、開発力、環境対応力等、非財務価値を高める経営を継続し、企業体質の強化に取り組んでおります。

当第3四半期連結業績は、売上高1,234億51百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益159億89百万円（同17.8%増）、経常利益171億68百万円（同18.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益125億73百万円（同17.5%増）となり、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は第3四半期として過去最高となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を一部変更しています。以下は前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

[セグメント別の業績概況]

(車輛資材事業)

国内事業について、カーシート材は、前年の国内自動車メーカーの生産停止により落ち込んでいた受注が回復し、増収・増益となりました。

海外事業（2025年1～9月）について、アメリカでは、前年に一部商材が好調であった反動から売上が減少しました。一方、メキシコでは新規車種立上げに伴い受注が拡大しました。アジア地域ではファブリック及び合皮によるカーシート材の売上が増加しましたが、一部、為替変動により利益が押し下げられました。各拠点における品質改善や経費削減活動が功を奏し、海外事業は増収・増益となりました。

その結果、車輛資材事業全体では、増収・増益となりました。当事業の売上高は848億7百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益121億38百万円（同13.9%増）となりました。

(ハイファッション事業)

アパレル業界において環境に配慮したモノづくりへの関心が高まるなか、当社は差別化商品を小ロット・短納期・在庫レスで製造する独自の「Viscotecs®」を活用したビジネスモデルの展開に加え、リサイクル素材や生分解性素材の開発・製造を進めております。

単体では、スポーツやアウトドア向け素材が好調に推移しました。KBセーレン㈱においては、不採算商品の見直しを行ったことにより、増益となりました。また、世聯美仕生活用品（上海）有限公司における衣料素材の販売が好調に推移しました。

その結果、ハイファッション事業全体では増収・増益となりました。

当事業の売上高は160億23百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益13億24百万円（同13.2%増）となりました。

(エレクトロニクス事業)

ゲーム機やモバイル端末向け商材が順調に推移したほか、人工衛星の売上が寄与したことなどにより、単体では増収・増益となりました。

KBセーレン㈱においては、海外半導体メーカー向け防塵衣用導電系「ベルトロン」やデータセンター・半導体市場向け光ファイバーコネクタ清掃用資材が順調に推移しました。

また、セーレンアドバンストマテリアルズ㈱（旧社名：セーレンK S T㈱、2025年11月1日付で社名変更）においては、海外を主としてシリコンウェーハの酸化膜加工の販売が順調に推移しました。

その結果、エレクトロニクス事業全体では増収・増益となりました。

当事業の売上高は97億55百万円（前年同期比20.2%増）、営業利益は22億89百万円（同64.3%増）となりました。

(環境・生活資材事業)

病院・介護施設向けベッド商材については、厚生労働省の病床数適正化支援事業などの影響により、売上が減少しました。また、ハウジング関連では住宅着工戸数減少の影響を受け、住宅向け資材が苦戦しました。一方、ＫＢセーレン(株)においては民生資材の売上が回復しました。

その結果、環境・生活資材事業全体では減収・減益となりました。

当事業の売上高は74億52百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は7億2百万円（同2.0%減）となりました。

(メディカル事業)

サポーター等の健康・医療資材が堅調に推移しました。ＫＢセーレン(株)においては、絆創膏用途の「エスパンシオーネ」の売上が増加したものの、貼布材が伸び悩みました。また、セーレン商事(株)の医療システム販売は、前年の好調の反動で売上げが伸び悩みました。

その結果、メディカル事業全体としては減収・増益となりました。

当事業の売上高は48億53百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は5億47百万円（同0.7%増）となりました。

(その他の事業)

(株)ナゴヤセーレンの不動産賃貸管理事業やセーレン商事(株)の保険代理業は堅調に推移しました。

当事業の売上高は5億57百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は4億6百万円（同1.3%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して68億41百万円増加の2,060億65百万円となりました。流動資産は、現金及び預金や有価証券の減少などにより、前連結会計年度末と比較して46億78百万円の減少となりました。固定資産は、投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して115億19百万円増加しました。負債の部は、支払手形及び買掛金の減少や借入金の純減などにより、21億43百万円減少し、531億97百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の変動があった一方、利益剰余金が増加したことなどにより、全体で89億84百万円増加し、1,528億67百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は324億32百万円となり、前連結会計年度末より78億84百万円減少しました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、127億93百万円の収入（前年同期は145億61百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が170億64百万円あった一方、売上債権の増加13億61百万円、仕入債務の減少12億36百万円があったことなどによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、137億51百万円の支出（前年同期は88億70百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出72億75百万円、関係会社株式取得のための前払金の支出78億円があったことなどによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、62億95百万円の支出（前年同期は63億8百万円の支出）となりました。これは主に、借入金の純減による支出17億33百万円、配当金の支払による支出44億62百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米国の通商政策や地政学リスク、為替動向等、先行き不透明な要素があるものの、当第3四半期連結累計期間の業績が堅調に推移したことから、2025年11月13日に公表した通期の業績予想を上方修正いたします。

なお、通期の連結業績予想には、ＮＢセーレン(株)（旧ユニチカ(株)岡崎事業所）の2026年1月～3月の業績予想を盛り込んでおります。

2026年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 162,700	百万円 20,000	百万円 21,200	百万円 15,200	円 銭 258.69
今回修正予想（B）	172,000	20,500	22,100	15,900	270.61
増減額（B－A）	9,300	500	900	700	
増減率（％）	5.7	2.5	4.2	4.6	
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	159,653	17,865	19,277	13,887	242.29

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,028	34,158
受取手形、売掛金及び契約資産	42,222	42,745
有価証券	8,891	3,892
商品及び製品	16,089	15,568
仕掛品	4,489	5,625
原材料及び貯蔵品	8,808	8,586
その他	3,546	11,821
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	127,064	122,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,813	25,113
機械装置及び運搬具（純額）	14,632	15,138
工具、器具及び備品（純額）	888	957
土地	13,144	13,149
建設仮勘定	1,748	5,000
有形固定資産合計	56,228	59,359
無形固定資産		
のれん	318	199
その他	3,097	2,866
無形固定資産合計	3,415	3,065
投資その他の資産		
その他	12,624	21,360
貸倒引当金	△108	△105
投資その他の資産合計	12,515	21,255
固定資産合計	72,159	83,679
資産合計	199,223	206,065
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,492	21,739
1年内償還予定の新株予約権付社債	90	—
短期借入金	4,816	1,052
未払法人税等	2,719	1,488
賞与引当金	1,787	825
その他	7,607	9,931
流動負債合計	40,513	35,038
固定負債		
長期借入金	5,516	7,547
役員退職慰労引当金	119	119
株式報酬引当金	170	320
退職給付に係る負債	6,319	6,232
その他	2,702	3,939
固定負債合計	14,827	18,159
負債合計	55,340	53,197

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	19,976	20,040
利益剰余金	95,792	103,903
自己株式	△10,677	△10,357
株主資本合計	122,611	131,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,985	6,574
為替換算調整勘定	16,103	14,034
退職給付に係る調整累計額	205	212
その他の包括利益累計額合計	20,293	20,820
新株予約権	465	465
非支配株主持分	511	473
純資産合計	143,882	152,867
負債純資産合計	199,223	206,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	118,520	123,451
売上原価	85,559	88,787
売上総利益	32,961	34,664
販売費及び一般管理費	19,389	18,674
営業利益	13,572	15,989
営業外収益		
受取利息	819	687
受取配当金	247	387
為替差益	—	55
補助金収入	249	143
その他	138	125
営業外収益合計	1,455	1,399
営業外費用		
支払利息	208	75
有価証券評価損	246	126
為替差損	46	—
その他	24	19
営業外費用合計	525	221
経常利益	14,502	17,168
特別利益		
固定資産売却益	55	45
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	55	45
特別損失		
固定資産処分損	6	100
減損損失	—	49
投資有価証券評価損	7	—
特別損失合計	14	149
税金等調整前四半期純利益	14,543	17,064
法人税等	3,791	4,432
四半期純利益	10,751	12,632
非支配株主に帰属する四半期純利益	54	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,697	12,573

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	10,751	12,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	2,588
為替換算調整勘定	153	△2,065
退職給付に係る調整額	△45	6
その他の包括利益合計	42	530
四半期包括利益	10,794	13,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,723	13,100
非支配株主に係る四半期包括利益	70	61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,543	17,064
減価償却費	4,459	4,554
固定資産処分損益 (△は益)	△48	55
投資有価証券評価損	7	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△993	△961
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△116	△77
受取利息及び受取配当金	△1,067	△1,075
支払利息	208	75
為替差損益 (△は益)	340	△469
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,199	△1,361
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,113	△438
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,527	△1,236
未払消費税等の増減額 (△は減少)	169	25
その他	1,490	1,781
小計	18,203	17,929
利息及び配当金の受取額	1,011	1,142
利息の支払額	△234	△97
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,418	△6,181
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,561	12,793
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,991	△7,275
有形固定資産の売却による収入	130	52
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△7,122	△4,866
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,600	2,702
定期預金の純増減額 (△は増加)	526	3,485
関係会社株式取得のための前払金の支出	—	△7,800
その他	△13	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,870	△13,751
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,800	3,100
長期借入金の返済による支出	△1,769	△4,833
自己株式の取得による支出	△4,767	—
配当金の支払額	△3,454	△4,462
非支配株主への配当金の支払額	△9	△95
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△107	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,308	△6,295
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	△631
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△592	△7,884
現金及び現金同等物の期首残高	37,545	40,317
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,953	32,432

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注) 1						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	車輛資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メ デ ィ カル	計				
売上高										
顧客との契約から生 じる収益	81,959	15,359	8,117	7,503	5,033	117,973	160	118,133	—	118,133
その他の収益	—	—	—	—	—	—	386	386	—	386
外部顧客への 売上高	81,959	15,359	8,117	7,503	5,033	117,973	547	118,520	—	118,520
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	72	175	268	9	526	447	973	△973	—
計	81,959	15,431	8,293	7,772	5,043	118,500	994	119,494	△973	118,520
セグメント利益	10,659	1,170	1,393	717	543	14,483	400	14,884	△1,312	13,572

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注) 1						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	車輛資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メ デ ィ カル	計				
売上高										
顧客との契約から生 じる収益	84,807	16,023	9,755	7,452	4,853	122,893	166	123,060	—	123,060
その他の収益	—	—	—	—	—	—	391	391	—	391
外部顧客への 売上高	84,807	16,023	9,755	7,452	4,853	122,893	557	123,451	—	123,451
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	62	398	107	9	578	510	1,089	△1,089	—
計	84,808	16,086	10,154	7,560	4,862	123,472	1,068	124,541	△1,089	123,451
セグメント利益	12,138	1,324	2,289	702	547	17,001	406	17,407	△1,418	15,989

(注) 1. 各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

- (1) 車輛資材……………自動車・鉄道車輛等内装材(シート材、エアバッグ、加飾部品)
- (2) ハイファッション……………各種衣料製品、衣料用繊維加工
- (3) エレクトロニクス……………導電性素材、工業用ワイピングクロス、ビスコテックス・システム及び
サプライ、電子機器、シリコンウェーハの成膜加工等、人工衛星
- (4) 環境・生活資材……………建築用資材、インテリア用資材、健康・介護商品、環境・土木資材
- (5) メディカル……………医療用資材、化粧品、水処理用資材

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発及び
販売、保険代理業、人材派遣事業、不動産賃貸管理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用(前第3四半期連結累計期間
1,310百万円、当第3四半期連結累計期間1,398百万円)が含まれております。全社費用は、主に報告セグメン
トに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織体制の変更ならびに一部製品の対象セグメント見直しに伴い、報告セグメン
トの区分を変更しております。

また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを記載してありま
す。